

## 情報システムデザイン学科

### ●教育研究の目的

現在、コンピュータは自動車や家電製品をはじめとして日常生活に深く複雑に関わるとともに、これまではない情報サービスが提供されるようになってきており、時代の価値観に見合う情報システムの新たな展開が求められています。本学科では、誰もが自然に、また思いのままに使いこなすことができ、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムを開発するために必要な知識や技術を身につけることができる教育を目指しています。また、社会全般の多彩なニーズをシステムという具体的なカタチにすることで、あらゆる分野に情報技術の恩恵を展開できるエンジニアの育成を目指しています。さらに、より幅広い分野で利用者の立場に立ったシステムを構築するために、理系の特長である科学技術の深い知識を基本とする合理的な判断能力および論理的な思考能力と、文系の特長である人間の社会・文化活動への鋭い洞察を組合せ、多様で複雑な問題を解決するシステムを企画・設計・開発できる能力を有する人材の育成を目的としています。そのため、理系・文系両方の入学生を受け入れ、情報技術分野全般に加えて人間・社会科学をバランス良く組み込んだ教育カリキュラムと研究室における研究実験を通じた卒業論文により、それらの基礎理論と応用能力を修得させることを教育研究目標としています。

### ●目指すべき人材（物）像

理工学部情報システムデザイン学科は、情報システム設計について、情報技術分野全般に加えて人間・社会科学をバランス良く組み込んだ教育カリキュラムをとおして、社会や生活に役立つ新しい情報システムを設計・開発するために必要な知識・技術を身に付けて、企画・設計・開発ができる技能を有し、幅広い分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

### ●ディプロマ・ポリシー

- ・より豊かな社会や生活づくりに役立つ新しい情報システムを企画・設計・開発する技能を備え、学術的知見に基づいて本質を理解できる（知識・技能）。
- ・情報システムを企画・設計・開発するために身につけた知識・技能を活用して、あらゆる分野で課題を発見し、情報技術の恩恵を展開できる（思考力・判断・表現力）。
- ・社会の一員としての見地から社会全般の多様なニーズを捉え、未来を見つめた新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な幅広い知識を探求できる（主体性・多様性・協働性）。

### ●カリキュラム・ポリシー

(2017年度以降生)

- ・社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目 A 群 I 類、II 類と選択科目 B 群および C 群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- ・必修科目は、社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識と技能を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験（情報システム演習実験 I、II、III）を設置する。また4年次にこれ

まで習得した技能や思考力を発揮して主体的に取り組む卒業研究Ⅰ、Ⅱを設置して合計46単位を履修する(知識・技能、主体性・多様性・協働性)。

- ・選択科目A群Ⅰ類およびⅡ類は、社会や生活に役立つ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な思考力・判断力・表現力を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて併せて講義および演習52単位を選択履修する(思考力・判断力・表現力)。
- ・選択科目B群は、グローバル社会が直面する国際的かつ多様な課題を理解するのに必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、講義を主として1年次から4年次にかけて授業科目22単位を選択履修する。
- ・選択科目のうちB群Ⅰ類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの英語演習科目8単位を履修する(知識・技能、思考力・判断力・表現力)。
- ・選択科目のうちB群Ⅱ類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目4単位を履修する(知識・技能、思考力・判断力・表現力)。
- ・B群Ⅲ類では、教養ある技術者の育成を目的として、社会の一員であることを理解し、活躍できるように、人文・社会科学系の科目を中心に10単位以上を履修する(主体性・多様性・協働性)。
- ・選択科目C群は、主に高等学校の情報の教職としての高度な専門的知識の習得を到達目標とし、教職課程に必要な単位を履修する(知識・技能)。
- ・上記のA群、B群、C群科目を合わせて128単位以上の習得を通して、社会的責任感のある先導的技術者の育成を目指す。
- ・世界で活躍できる技術者としての素養を得ることを目的に、留学希望者には、所定の条件を満たし、プログラムを修了すると本学と派遣先大学双方の大学からそれぞれの修士学位または博士学位を同時に2つ取得することができるダブルディグリー制度(大学院への進学が前提となる)や短期・長期の留学制度を設置している。

(2016～2015年度生)

- ・社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目A群Ⅰ類、Ⅱ類と選択科目B群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- ・必修科目は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験(情報システム演習実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)を設置してあり、合計42単位を履修する。
- ・選択科目A群Ⅰ類およびⅡ類は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な態度を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて併せて講義および演習52単位を選択履修する。
- ・選択科目B群は、グローバル社会が直面する国際的課題を理解するのに必要な基本的知識を習得する

- ことを到達目標とし、講義を主として1年次から4年次にかけて授業科目22単位を選択履修する。
- ・選択科目のうちB群Ⅰ類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの英語演習科目8単位を履修する。
  - ・選択科目のうちB群Ⅱ類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目4単位を履修する。
  - ・B群Ⅲ類では、教養ある技術者の育成を目的として、科学技術だけでなく、社会・人間を多角的に理解できるように、人文・社会科学系の科目を中心に10単位以上を履修する。
  - ・選択科目C群は、主に高等学校の情報の教職としての高度な専門知識の習得を到達目標とし、教職課程に必要な単位を履修する。
  - ・上記のA群、B群、C群科目を合わせて128単位以上の習得を通して、社会的責任のある先導的技術者の育成を目指す。

(2014～2008年度生)

- ・社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発できる人物を育成するために、理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系の科目から構成される必修科目、選択科目A群Ⅰ類、Ⅱ類と選択科目B群によって構成されるカリキュラムとして設置する。
- ・必修科目は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を理解するために必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて理工学基礎、情報科学、情報システム設計とその基盤となる人間・社会科学系からなる講義および演習とさらに座学で学んだ知識を実践するための実験（情報システム演習実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を設置してあり、合計42単位を履修する。
- ・選択科目A群Ⅰ類およびⅡ類は、社会や生活に溶け込んだ新しい情報システムの企画・設計・開発に必要な課題を多面的な角度から理解するために必要な基本的な態度を習得することを到達目標とし、1年次から3年次にかけて併せて講義および演習52単位を選択履修する。
- ・選択科目B群は、グローバル社会が直面する国際的課題を理解するのに必要な基本的知識を習得することを到達目標とし、講義を主として1年次から4年次にかけて授業科目22単位以上を選択履修する。
- ・選択科目のうちB群Ⅰ類は、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの英語演習科目8単位を履修する。
- ・選択科目のうちB群Ⅱ類は、英語以外の外国語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて少人数クラスの初修外国語演習科目4単位を履修する。
- ・B群Ⅲ類では、教養ある技術者の育成を目的として、科学技術だけでなく、社会・人間を多角的に理解できるように、人文・社会科学系の科目を中心に10単位以上を履修する。